

平成 24 年 12 月 7 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄  
(コード 2388 大証 JASDAQ 市場)  
問合せ先 取締役 庄司 友彦  
(TEL 03 - 6225 - 2207)

## ファイナンス事業の投資家向け説明会実施とアナリストレポートのご報告

当社の連結子会社であり東南アジアでファイナンス事業を行う Group Lease PCL. (以下 G L) は 11 月 16 日、タイ国内の大手証券会社である Trinity Securities Co.,Ltd (以下 Trinity 証券) が主催する投資家向けイベント「Trinity Tea Talk」にて説明会を行い、同社の事業紹介と現在の業績動向、取り組みなどについてご紹介いたしました。当日のイベントには多くの投資家が参加、G L の事業状況や今後の事業展開などについて活発な質問が寄せられました。また内容を受けて Trinity 証券のアナリストは G L の事業についてレポートを発表しておりますのでご紹介いたします。



<投資家に説明を行う此下益司 CEO>



<満席の会場からは多くの質問が出される>

記

### <Trinity 証券 Trinity Tea Talk レポートの要約>

#### ● 総論：買いを推奨

- 海外事業は立ち上げ段階にあるものの業績下振れリスクは少なく、一方で HONDA との独占契約等による優位から逆に想定以上の業績伸張となる可能性は大きい。
- カンボジア市場はタイよりも高い成長が期待できる。

## ● タイ国内事業状況

- 直近の四半期決算は106百万バーツ（前年同期比17%増）と過去最高の純利益を計上。
- 次四半期の利益はさらに拡大することが期待できる。月間6000台水準の高い契約水準から7000台を目指しており、収益に貢献する。
- タイ国内の市場は拡大が見こまれ、相対的に競争が低い地域においてもGLは事業を拡大することが可能とみられる。
- 現在のD/Eレシオは未だ1程度で高い自己資本比率。今後負債の活用がすすむことでROEの向上がみこまれる。

## ● 海外事業状況

- カンボジアではGLは子会社GLFを通じて事業を開始、GLFはカンボジア中央銀行から唯一のファイナンシャルリース免許を取得。
- GLFはカンボジア国内のオートバイ販売の95%を占めるHONDAから公認ディーラーでの7年間の独占権を取得。プノンペンで11箇所の営業拠点を設置。
- 現在までGLFは試験的に100件の新規契約を締結したが、5.6ヶ月経過した時点で不良債権は発生せず。
- 現在は現金のみでオートバイを購入しているカンボジアの顧客に今後はファイナンスを使うようにプロモーションしていくことが重要。
- 今後カンボジアで35の拠点を設置して全国展開、独占的な市場支配を通じて2015年にはタイ国内市場を越える事業規模を目指す。

以 上